

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 岡崎市 (都道府県: 愛知県)
本事業の担当部局名 こども部こども育成課

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業			
区分	一般メニュー			
関連事業メニュー	3.1.3 妊娠・出産、子育て支援情報の「見える化」支援			
個別事業名	子育て支援情報配信業務	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	令和4 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	5,298,816			円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 令和元年の岡崎市の20代~30代の流入比率は67.1%と高い水準にあるが、一方で、令和3年における本市の出生数は2,980人となり、前年と比べて47人増加しているが、平成28年の3,850人と比べると大幅に870人減少している。この要因の一つとして、核家族化の進行や共働き家庭の増加、地域の繋がりの希薄化などにより、子育ての負担や育児への不安が影響しているものと考えられる。平成30年に実施した市民意識調査においても、出産時の不安や仕事と家庭の両立ができていないことが20%を超えており、出産・子育てに対する負担や不安の解消が課題となっている。			
	<本個別事業の位置付け> 岡崎市では、「第2期岡崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標に「未来のひとづくり」を掲げており、3世代の同居・近居率の高さ、西三河製造業勤務世帯の多さなど、本市の特性を踏まえ、安心して楽しみながら子育てできるまちを目指している。 また、誰もが安心して子どもを産み、子育てに夢や希望を持つことができる社会の実現を目指し、「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定をしており、本事業を基本施策「地域における子育て支援」の「子育てに関する相談体制・情報提供の充実」における1つ具体的事業として位置付けている。			
	(本個別事業における現状と課題) 妊娠から3歳未満の子を持つ子育て世帯の希望者に対し、LINEを活用して子育て支援情報を配信している。子どもの成長に合わせて必要な情報を届けることで、妊娠・出産・育児への不安感、孤独感を軽減し、安心して子育てできる環境づくりに取り組んでいる。令和4年7月からはLINE配信を開始したが(令和4年6月までは電子メールでの情報配信)、妊娠期の登録者数は飛躍的に増加したものの、子育て期の登録者数が伸び悩んだ。そのため、子育て期の世帯に情報を十分に届けることができていないと感じている。また、本市に37ある子育て支援団体について十分な周知ができておらず、子育て世帯にとって子育てをする上での選択肢を十分に提供できていない。			
(課題への対応) 子育て期の登録者数増加と満足度を上げるため、子育て支援団体の情報を新たに細やかに配信する。利用者は受け取った情報を元に子育て支援団体の存在を知ることができるとともに、子育ての悩みを相談できる機会も新たに提供でき、孤独感の解消にも繋げることができる。				

番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定	
1	子育て応援すくすくLINE配信業務	子育て世代にとってより身近なツールであるLINEを利用して、子育て情報を発信するとともに、相談機関の担当課と連携し、相談情報の発信を行う。また、相談窓口の拡充を図るため、新たに本市登録の子育て支援団体(37団体)の情報を定期的に配信することを開始する。次年度以降、子育て支援団体との連携をより密にすることで、「気軽に相談できる窓口」として一層周知及び定着させていく。 また、事業広報のため、以下の作成を行う。 ①一般市民周知用チラシ(公共施設・産婦人科・小児科配架等) 15,000枚 ②妊娠おめでとうカード(事業広報用、母子健康手帳交付時に配布、父母で別様式) 母親向け4,000枚・父親向け6,000枚	○	○	
2	育児相談業務	対面(訪問及び来庁)及び電話等で育児相談を行う。 【場所】岡崎げんき館(岡崎市保健所) 【日時】保健所営業日(原則週5日・平日) ※対象経費は「1 子育て応援すくすくLINE配信業務」によって発生する人件費のみとする。			
3	妊娠・授乳相談支援委託事業	岡崎市薬剤師会に委託し、体験型妊婦教室をはじめとした相談・支援事業を行う。 【場所】岡崎げんき館(岡崎市保健所) 【回数】年12回(月1回)			
【次年度以降に向けた事業の方向性】 令和5年度に実施した利用者アンケートに基づき、配信内容や広報手段を検証し、より効果的な配信方法を検討する。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	社会増減(令和3年度から令和7年度における5年平均の転入超過数)		人	330(令和3~令和7年度平均)	317(平成23~令和2年度平均)
	子育て応援すくすくLINE登録者数の増加(人/年)		件	100(令和5年度)	—
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.33 (R2)	
	婚姻件数		件	3,506 (R2)	
	婚姻率			9.1 (R2)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	〈アウトプット〉				
	・子育て応援すくすくLINEの子育て期の登録者数		人	2,200	2,100 (R5.3予定)
	・子育て応援LINE内での相談窓口案内回数(全550通中)		回	100	65 (R5.3)
	〈アウトカム〉				
	「登録してよかった人」の割合(満足度)		%	94	—
	「今の生活の中で孤独を感じることもある」人の割合		%	25	31.19 (R3)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7		愛知県公式Webサイト(子育て支援課のページ)への掲載による広報を行う。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8		民間事業者が作成した子どもや妊産婦の情報(以下、民間情報という。)と、本市が作成した子育て行政情報(以下、行政情報という。)を組合せ、民間事業者がLINE登録者に随時配信する。民間情報及び行政情報の原稿は、随時更新を行い、行政が確認をしている。また、民間事業者と行政が合同で作成した利用者アンケートを、民間事業者がLINEを活用して実施する。			